

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年2月27日

事業所名 まきば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		学習ルームとプレイルームを別けている	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		補助のため、非常勤職員も配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		転倒しないように配慮している	玄関の段差があり、職員が気を付けている見守りと声掛けを行っている
業務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		業務改善会議を開催	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者の意向やニーズの把握をおこなっている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		自己評価表をホームページに掲載している	事業所の掲示板で公表公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていけるようにして行きたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修を受講 オンラインセミナー参加	外部研修を予定していたが、コロナで中止になった。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		保護者のニーズが偏らないよう留意している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		大阪市の「利用者調査票Ⅰ・Ⅱ」を使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		課題に合わせた活動の立案をしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節の行事を取り入れている	個別活動は固定化してしまうケースがある
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		長期休暇はお出かけを計画している	保護者と連携をとり設定し支援をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		発達支援に重点を置いて、個別・集団・運動・創作・学習をメインに児童にあった支援を行う	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		職員会議を開催	前日・当日の申し送りをおこなっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		職員間の連絡ノートで共有している	気づきノートを作成している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援ノートを活用	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		保護者からの情報を入手している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		発達支援に重点を置いて、個別・集団・運動・創作支援をおこなっている	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		担当者会議に参加	管理者・児発管が参加し、相談支援事業所の担当者に利用児の状況を報告をしている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		保護者や学校と情報共有している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>			該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		学校訪問し情報共有相互理解に努めている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>		体制は整えている	障がい福祉サービス事業所の見学、情報収集を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		専門機関の主催する研修会に参加、情報交換をしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>		公園で地域の児童と交流する時がある	コロナで外出が制限されているので、交流する事が出来ない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		NPO法人自立支援推進協議会 JOTO児童部会に参加	地域の情報を入手している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		保護者会や個別面談会を開催	送迎の時にも状況の報告、伝達を行っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>		家族間の困りごとの相談や、対応の方法の提案を行っている	ペアレンツ・トレーニング研修の家族参加をすすめている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		保護者会や個別面談会を開催	利用者負担の有料や無償等変更があった時にも説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者会や個別面談会を開催	LINEやメールも利用している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		保護者交流会を開催	勤務の都合で不参加の保護者に参加できるように改善したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		訪問、来所、電話で、対応している	LINEやメールも利用している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		文章やメールで通知している	LINEやメールも利用している
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		鍵付き書庫に書類を保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		連絡ノート、メールを活用している	送迎の時にも状況の報告、伝達を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		事業所内覧会を開催	クリスマス会や事業所内覧会を開催コロナ禍で行事を中止している

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		事業所内研修を開催	災害・防犯訓練をおこなっている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		事業所内で避難訓練をおこなっている	救急救命講習会に参加している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		事業所内研修を開催	研修会で事例検討を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		研修会を開催	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		職員会議を開催	保護者からの情報で、職員に報告している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		研修会を開催	研修会で事例検討を行っている